

■ 平成29年度 区政懇談会（山の下地区）

日 時：平成29年5月11日（木）

16:00～17:30

会 場：山の下まちづくりセンター



（発言）

側溝にボウフラを殺す薬を7月から10月にわたり何回か撒くが、側溝に泥が残っており撒きづらい。地域で側溝の柵の清掃をしようとしても、簡単に側溝の蓋が持ち上がらず、また、側溝の蓋を上げる機械もなく難しい。2～3年毎でよいので、区から柵を清掃してもらえないか。

（回答）

側溝や柵の清掃は地域の住民が実施し、上げた泥は区で回収するというのが原則。

柵が深い、交通量が多いなど、地域では困難な場合は、下水道部で対応する場合もある。

現地確認したところ、地域では困難な箇所があったため、その箇所は、区から下水道部に連絡し、市で責任をもって対応する。

地域で出来る箇所は、今後とも地域で対応いただきたい。なお、困難な箇所については、区建設課に連絡をいただければ、下水道部へ連絡する。

（発言）

上下水道管などのライフインフラや道路の耐久性や老朽化が懸念される。どのように点検しているか。

（回答）

道路地下に埋設の上下水道、ガス管の維持管理は、敷設した事業者が法律に基づき管理することになっており、耐震や老朽化対策も当事業者が順次進めている。

区は、道路の占用許可の更新時に適切に行われているか確認している。また、道路パトロールは区の仕事であり、大きな道路は定期的実施している。しかし、生活道路などは、区の手が回らないところもある。地域から区建設課にご連絡いただければ調査に行くので、ご協力いただきたい。

(発言)

健康寿命延伸推進事業に賛成であるが、分かりやすく、説明しやすく、手軽に取り組みやすいものとして欲しい。また、事業は、各コミュニティ協議会の福祉部会などで検討してもらってはどうか。

(回答)

市をあげて、今年度から健康寿命延伸に向けた取り組みを本気で行っていく。どうすれば健康になるかは分かっているけど、実際に取り組むことは難しいので、簡単なメニュー作りをし、地域へ説明に行きたい。また、コミュニティ協議会単位で講師派遣希望があれば、すぐに派遣する。

(発言)

側溝の掃除は、区より定期的に巡回してもらえないか。また、山の下地区には**津波が来た時の避難場所**が少ないことから、避難場所を造って欲しい。

(回答)

すべての側溝を区が定期的に巡回することは難しいため、地域が管理し、何かあれば区に連絡をしていただきたい。

津波の避難場所について、船江町は30分以内に津波が到着すると予測されているにもかかわらず高台まで遠いことから、地域と区が一緒になり協議を重ね、その結果、市営住宅の屋上に外階段を付ける事業が始まった。山の下地区の皆様にとって、どこに避難場所を設置したら効果的か、区の出前講座等で津波避難経路を確認するところから話を詰めたい。

(発言)

健康寿命延伸事業にかかる講師派遣費用負担や派遣期間を知りたい。

(回答)

区の専門職員を講師として派遣することになるので、皆様の費用負担はない。説明は1回を考えている。

(発言)

一定期間講師を派遣したり，効果を検証するべきではないか。

(回答)

継続的に専門職員が指導することは難しいので，皆様に自主グループを立ち上げていただき，そのグループのリーダー養成を今年度事業計画している。その先，どのような手法で広げていくかは，各グループと区と一緒に考えていくことなると思う。

(発言)

市民活動保険について，飲酒中の怪我や違法駐車中の車への損害は補償してもらえるか，青少年健全育成活動は対象か，保険の内容を知りたい。

また，**津波避難場所のハザードマップ**を確認したが，避難対策区域は色分けされており，濃い色でないから大丈夫と理解している声と本当に大丈夫か心配する声が聞こえてくる。どのように作成されたか知りたい。

(回答)

市民活動保険は，ボランティアとして参加しているスタッフを対象とするので，祭りの参加者は対象とならない。また，青少年健全育成協議会はその他の地域団体に該当するため対象となる。飲酒時の取扱いと違法駐車の関係は，追って回答する。

→5月12日に山の下コミ協宛に下記のとおり回答した。

一滴でも飲酒をしたら対象外ということにはならないが，酩酊状態など明らかに飲酒が原因の怪我は，保険対象外であり，違法駐車の影響は，状況に応じての判断となる。

(発言)

自治会費の集金活動は，なぜ保険対象外か。

(回答)

ボランティア等の公益的な活動が対象であり，自治会費の集金は自治会運営のための自助的な活動のため対象外となる。

(発言)

祭りも宗教団体主催と地域主催があるが、宗教団体主催の祭りは対象外になるとの理解でよいか。

(回答)

自治会等で年間計画として実施している祭りは対象で、神社などが開催する祭りは対象外となる。

津波の記載等は、過去の地震を条件に基づいて色塗りしたもので、それに基づき地域でワークショップを重ねてもらっている。

県の津波想定が夏頃に出されると聞いているので、豪雨の関係などを含めた総合的なハザードマップを作成していくことになる。そうすると、変更の箇所が出てくるので、それに基づき、改めて地域と話し合いをさせていただきたい。

(発言)

開港150周年に関連して山の下側の臨港臺を再現することについて、観光客が少なければ造らないという話を聞いているが、その考え方はおかしいと思っている。また、一方で西側のみなどぴあの周辺に造るという話も聞いているので、その点について確認してもらいたい。下山、東山の下、桃山、山の下地区の総力を結集しなければ実現できないと思う。

(回答)

臨港臺は、地元の盛り上がりがないと区として手が出せないところもあり、区は地元の盛り上がりを待っていた。しかし、もう時間が少なくなってきており、来年度予算要求に上げなければ、間に合わなくなる。区の予算は、ハード整備が出来ない。寄附をある程度募ってとの話であったことから、区としては、状況等をお聞かせいただければと待っている状況である。下山、東山の下、桃山、山の下地区も一緒になって、施策を詰めなければならぬ時期に来ていると思うので、意見交換をお願いしたい。

(発言)

東区は、ものづくりが盛んな地域であったが、市の方針は、農業や港や貿易に向いている

ようだ。ものづくりに従事していた方々がいる間に、ものづくりに対しても指導や育成をしてほしい。長岡市で支援事業を行っている事例もある。

(回答)

東区は「産業のまち」と謳っているが、直接的な指導や助成が出来ていないと思う。

また、区は、融資制度の受付はしているが、抜本的な産業振興政策については出来ないというのが現実かと思う。

区としては、今ある産業を一生懸命PRするため、工場夜景バスツアーを実施しており、それは、「工場のまち」であるゆえの様々な歴史のなかで負の遺産を正の遺産へする取り組みでもある。

ご提示の長岡市の支援事業例を見たところ、区だけでは取り組みが難しいので、市全体としてどのように取り組んでいくかということで、区から市へ働きかけていきたい。